



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地
TEL&FAX 0743-92-0346
発行人 館長 藤田美佳

雨水

2月14日から梅まつりが始まりました。今年は開花が早かったこともあり、梅まつり開始前から公民館に観梅客が立ち寄っています。梅の景勝地・月ヶ瀬への関心の高さと、人々を惹きつけるこの時季ならではの自然の魅力が改めて感じさせられます。

ところで2月14日からは、今年のNHK大河ドラマ「青天を衝（つ）け」がスタートしました。2024年からの流通が予定されている新一万円札に肖像が採用される渋沢栄一の生涯を描くそうです。渋沢は、実業家として日本最初の銀行の創業を担ったことや、こんにちも活動が続ける多くの企業や組織、教育機関等の創設に関わったことで知られています。2月10日の日本経済新聞に掲載された帝国ホテルの広告には、初代会長を務めた渋沢が遺した言葉が紹介されていました。

「色々の風俗習慣の、色々の国のお客を送迎することは、大変にご苦労なことである。骨の折れる仕事である。然^{しかし}乍^{ながら}君達が丁寧^よに能く尽くして呉れ^くば、世界中から集^{あつ}まり世界の隅々に帰つて行く人達に日本を忘れずに帰らせ、一生日本をなつかしく思^{おも}い出させることの出来る、国家の為にも非常に大切な仕事である。精進してやつて下さいよ」（ルビと旧仮名づかいは原文のママ）

この言葉を読み、日本を月ヶ瀬に読み替えて考えました。月ヶ瀬に来る観梅客の方々、また公民館来館者の方々に対して、心を尽くしたおもてなしで、迎え、送る。そうした公民館でありたいなと感じました。

梅まつりに少しでも華を添えたいとの想いで、昨年度から始めたロビーでの「月ヶ瀬写真展」は、本年は、公民館自主グループ月ヶ瀬写真部のみなさんとその子どもたち（小中学生）が撮影した写真を展示しています。展示もグループのみなさんが担ってくださっています。地域のみなさんが「わが月ヶ瀬の公民館」、そして未来を担う子どもたちが「わたしたちの公民館」として、誇りをもって、愛してくれる公民館であるよう、準備を整えて、みなさんをお迎えしたいと思っています。

まもなく多目的ホールの空調入替工事が完了します。地区内随一の広々とした空間のホールですので、「三密」を避けた会合、研修等 地区内のみなさんに、これまで以上に利活用頂けたらと思います。

月ヶ瀬写真展 開催中

3月25日まで



駐車場についてのご案内と注意事項

2月14日から3月28日までの梅まつり会期中は、公民館駐車場は月ヶ瀬観光協会が使用します。公民館来館者の方は、月ヶ瀬観光協会の駐車場担当者の方に、公民館の来館者である旨をお伝えください。

フキ田舎暮らし 梅の木の剪定体験 1月27日

月ヶ瀬梅溪保勝会に講師を依頼し、品種園で、梅の木の剪定体験を行い、16人が参加しました。定員を大幅に上回る応募者数となり、選に漏れた方々からは、キャンセル待ちの要望の電話や問い合わせが相次ぎ、月ヶ瀬の梅のブランド力を感じました。集合場所として利用させていただいたロマンチックピア月ヶ瀬のみなさんには、駐車場やお手洗いの利用などご配慮いただき、この場を借りてお礼申し上げます。



月ヶ瀬地区地域教育協議会 2月9日

地域教育協議会の紅花染・大人組の活動を、公民館で行いました。夜間にもかかわらず、10余人が集いました。



移動図書館



第3金曜日 13:10～13:50 次回は3月19日
令和3年度4月からは、14:40～15:20です。

1か月、1人10冊まで借りられます。

市立図書館蔵書のリクエストもできます。

インターネットで予約して、移動図書館で受け取りも可能です。

【2,3月の講座予定】

◆月ヶ瀬歴史探訪 2/25 (木) 10:30-12:30

◆はる・おはなし会 2/27 (土) 10:00-11:00

◆家庭教育サポートネットワーク支援事業

「親子で一緒に1,2,3!!!」

- 3/19 (金) 10:00-11:30 WARA リズム
わらべうたに合わせ、お母さんと赤ちゃんがスキンシップをとるリズム活動と、発達段階に即した運動・遊びについてのトーク
 - 3/21 (日) 10:00-11:30
WARA リズム&親子ヨガのコラボ🎵
 - 3/24 (水) 10:00-11:00
リラックス親子ヨガ
- 申込不要、当日公民館にお越しください。

つややかに光を纏ひ青木の実	父在りし日はこの土間で餅を搗き	三姉妹鼻は母似の初鏡	干し終へしばかりの竿に風花す	水仙は浪の音きき満開に	背の丸く心も丸く初電話	キャンプ場のテントに灯り冬銀河	狭きほど身に沁みるなりすきま風	遠嶺にどつかり座る大枯木	追憶の百人一首恋あまた	元朝の願ひ新たに鈴緒振る	冬日向子守りの背より大欠伸	とんど焼き里を弾くや竹の音	一山を越えれば雪の谷渡り	神の間の柏手高し年初め	かるたの絵の花鳥こぼるる畳かな
豊美	新哉	かつ野	すま	利明	ふみ子	繁夫	雍子	卓	昭子	残照	ますみ	和代	由姫子	節子	ちず子

月ヶ瀬俳句会【一月】

